



四條畷市議会議員

ながはた

# 長畑ひろのり News



発行：2008.04.01

vol.010

ご意見は次のeメールアドレスへ  
公式HP & ブログは次のURLへ

sky@nagahata.jp  
http://nagahata.jp

phone：072-878-3205  
fax：072-877-1194

## こんにちは、市政報告です！

先月は議会があり、平成20年度の予算も決まりました。財政的に厳しい状況は変わりませんが、少しでも良い方向へ向かうよう、本年度も精一杯頑張ります。また、今日1日で47才になりました。今号は、3月議会を中心に報告します。

## 「平成20年度予算報告」です！

私は、予算特別委員会委員として、平成20年度の予算について委員会で意見を言い、議会で会派を代表し討論を行いました。この紙面上で予算を詳細に報告するのは無理がありますので、討論した内容を一部抜粋して、報告と致します。

・・・平成20年度の一般会計予算額は168億9,640万円と、前年度当初予算に比べ7億7,390万円の増額となっています。しかし、増額となった予算の殆どが雁屋畑線の用地買収や公社保有地の買い戻しに使われる為、市民サービスに直結する部分が増額になっているとは思えません。

そして、平成19年度見込みですが、多額の市債残高の約435億6,000万円や、忍ヶ丘駅前駐車場に代表される土地開発公社の数々の借入金合計約52億4,000万円が市に重くのしかかっており、今後も予算を許さない財政状況であるのは間違いありません。

また、3月10、11日に行われた予算特別委員会での答弁で何度も耳にしたのが、昨年度より一律5%カットでした。経済は生き物であります。日々刻々と変化する中、昨年度と全てが同じであるはずがなく、予算を組むうえにおいて一律との考え方は非常に残念でありました。

次にポイントを絞って述べさせていただきますと、教育費に関して平成18年度当初予算17億3,321万7,000円から平成19年度当初予算14億8,155万5,000円へと14,5%も大幅に削減されながら、平成20年度も、14億7,438万5,000円と717万円も下げられています。教育費は、市の将来に大きく影響を及ぼしますのでこの点については、次年度予算編成時しっかりと議論して頂きたいと要望致します。・・・<中略>・・・

・・・また、市長は財政が厳しい状況をふまえ、市政運営方針で市民との協働を訴えられました。しかし、マスコミにも取り上げられた一連の社会教育を中心とした問題は市民に何をもたらしたのでしょうか。今まで多くの市民は、財政が非常に厳しいのを理解した上で、市の為にと、特に社会教育の場で頑張ってくれていたのです。それが市民を裏切る結果になり残念でなりません。

財政が厳しい現実是十分理解できますが、しかし、その事ばかりに目が向き、重要な事を置き去りにしてきたのではないのでしょうか。我々市に直接関わる者が、気持ちまで失ってはいけません。

以上、今まで述べた点を見てもわかるように、市にとって一番かけているのは、やはり情報公開であると思います。信頼回復に努める為にも、市民と行政が協働してこれからやっていく為にも、今以上に情報公開を進めながら、ガラス張りの市政を目ざさなければなりません。

そして、今後は市民の信頼を回復すべく必死になって汗を流し、市民と行政が同じ土俵で市について考えられる状況を作る事から始めて頂きたい。・・・

## 「後期高齢者医療制度」について！

この制度について、私は教育環境福祉常任委員会委員として意見を言い、議会で討論しました。以下、討論した内容の一部を加筆して記します。

凍結や軽減と、国民の事を考えたようなスタートだが実際は、批判を避ける国の作戦に思えて仕方がない。

1973年から10年間、70才以上の高齢者は医療費を無料にするなど、無謀な政策のツケが回ってきている。

大阪府は年間の平均保険料が、都道府県平均より高い試算が出るなど、保険料が地域によって違いすぎる。

全国平均：約72,000円 大阪府：88,066円  
(12月3日現在、保険料の1人当たり平均年額より)

しかし、四條畷市の高齢者だけが、この制度に立ち遅れる事はできず、反対できなかったのが悔しくてなりません。

## 「市教委を中心とした問題」について!

前号で報告しましたように、2月29日に市教委の使途不明金の問題が報道されました。それに続き3月14日も報道されましたので、ご存知の方も多いと思いますが、この件に関しまして3月26日の議会閉会後に議会全員協議会が開かれ『国庫委託事業に係る不適正な会計処理の概要について』が報告されました。

しかし、内容はとても全容が解明されたとは言えず、逆に多くの疑問が残った説明となりました。

報道前日の3月13日には右の通り8人の処分が行われました。教育長の懲戒免職を含む、行政として、これ以上はない重い処分となりました。

処分内容	処分者数
懲戒免職	2人
停職	2人
減給	1人
文章訓告	2人
厳重注意	1人

明らかにされている内容は、前号で報告したように、府や国へ返金する額が、現在6,840,081円となっています。しかし、実態の無いと思われる事業が、この返金額に含まれていない等、さらに金額は増える可能性があります。

また、数年に数事業が重なって会計処理をされていたり、使途不明金が百万円単位であがっていたりと、未だにわからない事が多く、これ以上事態を究明するにも、市の職員は警察ではありませんので限界ではないかと思えます。

## 「社会教育団体協議会の問題」について!

3月議会一般質問において、私は主にこの問題について質問しました(他に教育長不在の2学期制の責任と検証)。

この協議会は、市の社会教育課主導の下、5団体(文化・スポーツ関係)が新しい一つの組織を作り、費用を出し合っ

て事務員も雇い、今後は社会教育課から手を離れて活動するようにと、財政が厳しいのを理由に作られた団体協議会です。そして最初の3年間は準備期間として、市も補助金を出して協力するので、それ以降は新しい団体協議会で活動して下さいと指導され、納得いかないまでも動き出すはずでした。

5団体は、どこも市に根付いて活動している団体で、事務所は西中学校内の空き教室を改装して使用する予定でした。私も平成16年度PTA会長をしている時に、社会教育課の担当者から、平成17年度を目途に団体協議会を作ると聞いており、すでに活動もしているのだと思っていたところ、平成19年12月に解散すると連絡が入り、調査したのです。



調べますと、平成16年度、知らない間に行政主導で団体協議会は出来ており、市の補助金も平成18年度までの3年間はおりており、書類上は活動していたのです。補助金や予算は下記の通りで、人件費や多くの備品購入に使われました。

西中事務所改装工事費	987,000円
平成16年度市補助金	620,000円
平成16年度市予算	457,850円
平成17年度市補助金	1,655,000円
平成18年度市補助金	828,000円

しかし、決算報告書の内容は記名や日付も無く、平成19年12月に過去3年分を同時に作る等、ずさんな管理でした。

また、合計4,547,850円も税金をつぎ込んでいながら、この団体協議会の事務所が、平成18年8月1日に利用可能になったと、社会教育課から各団体へ案内が送られたのは、平成18年7月27日です。

つまり、この3年間の社会教育課主導の準備期間には、ほとんど実態がなく、今後準備期間からやり直すにも、市から補助金はおりずこの団体協議会は解散するしかないのです。

財政再建が喫緊の課題でありながら、このような予算の使い方が許されるのでしょうか、納得いきません。

## 「教育長の任命責任」について!

また、一般質問の最後に、先に書いた『国庫委託事業の不適正な会計処理』に係った職員処分について、市長に質問をしました。教育長が懲戒免職されるなど異常な事態についてです。市長は、私の「教育長になぜしようと決意したのか」との問いには、任命に至った思いを答えられながら、教育長の『任命責任』を問うと次のように答弁されました。

懲戒免職処分を下したのは私ではございません。  
教育委員会と議長でございます。私は実態を究明したいと申し上げておりますのは、まだ実態が解明でき...

懲戒免職するだけの事実が明らかになり処分を下したのです。であるならば懲戒免職を下した時点で、教育長の任命責任はかかるのです。それが「処分を下したのは私でない」と手続き上の理由を使い責任を避ける答弁。理解できません。

## 「市政報告会」について!

下記の通り市政報告会を行います。今回は3月議会の内容が中心ですが、一年間の総括も含め報告させていただきます。

長畑ひろのり市政報告会(所要時間90分を予定)  
日時: 2008年5月24日(土)pm19:30~  
場所: 市民総合センター 3階 視聴覚室